



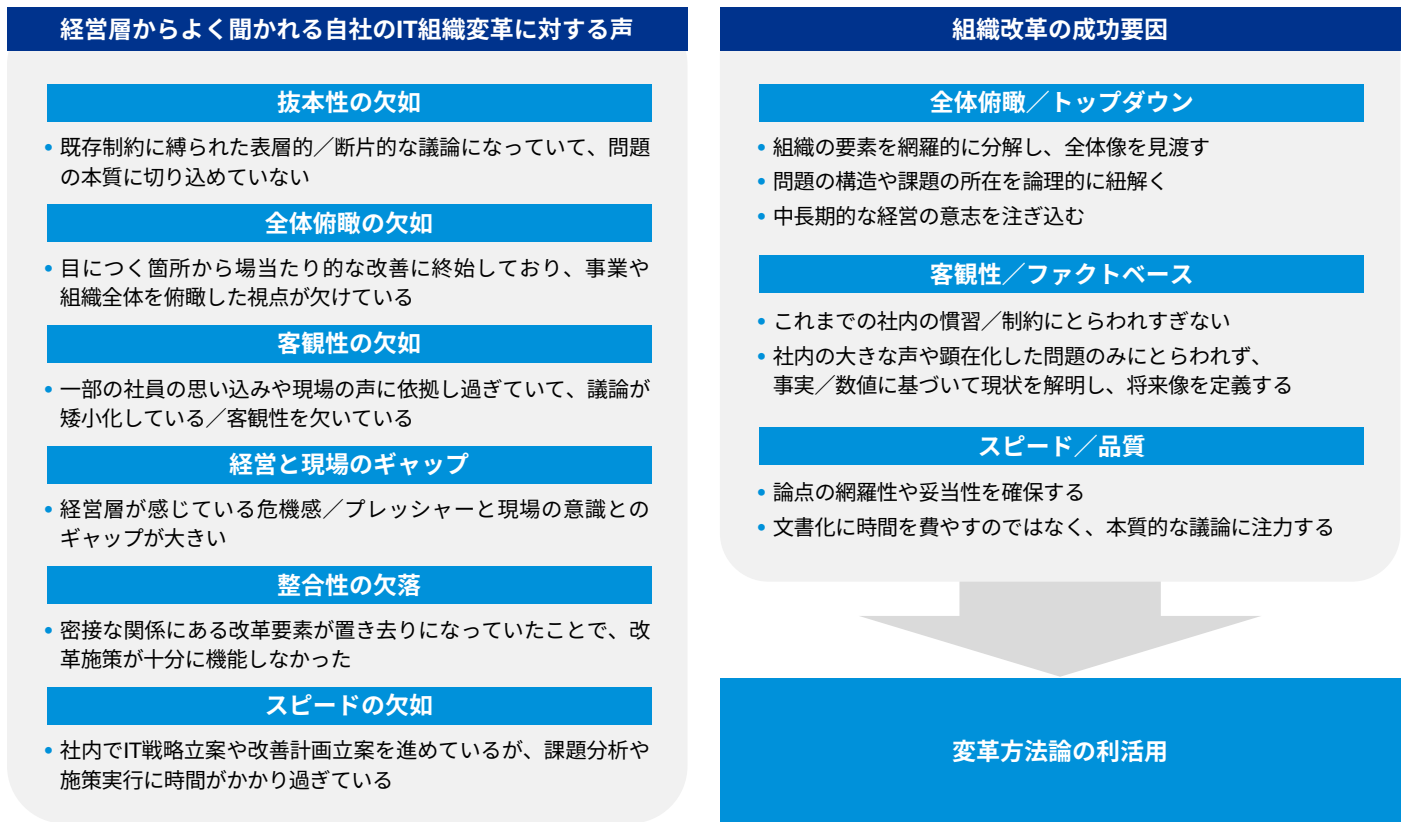
CIO Advisory

ITオペレーティングモデル

IT組織変革の方法論

IT組織変革の成功要因と方法論の意義

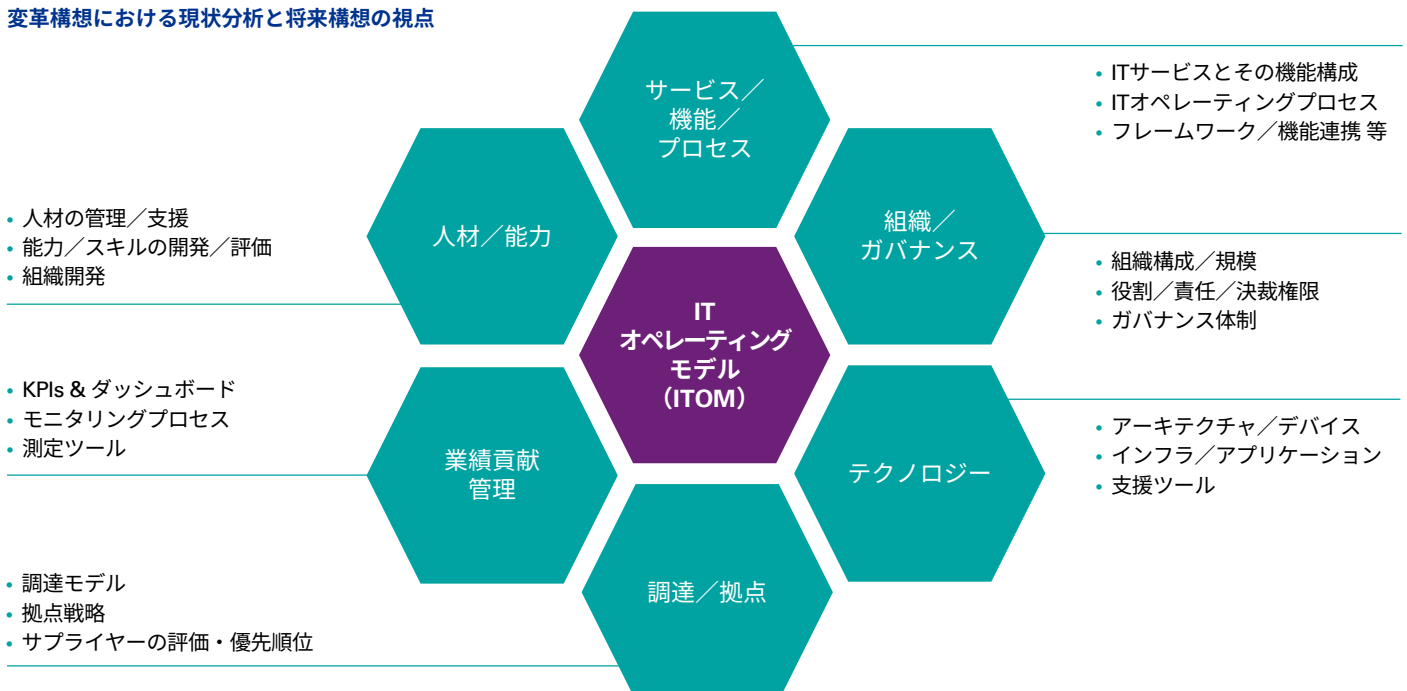
組織の変革を成功裏に導くためには、組織を構成する機能全体を俯瞰的に捉え、既成観念にとらわれることなく客観的な視座で変革施策を立案し、スピーディーに断行することが求められます。変革方法論は、「全体俯瞰」「客観性」「スピード」という成功要因を担保するうえで重要な役割を果たします。



KPMGの提唱する変革方法論：ITオペレーティングモデル (ITOM)

ITOMを用いたIT組織の変革構想では、企業のIT機能を6つの要素に分解したうえで各要素の整合性をとりながら将来像を検討し、その実現に向けたロードマップを構想していきます。

変革構想における現状分析と将来構想の視点



ITOMの活用機会

経営課題を踏まえたIT組織変革への適用

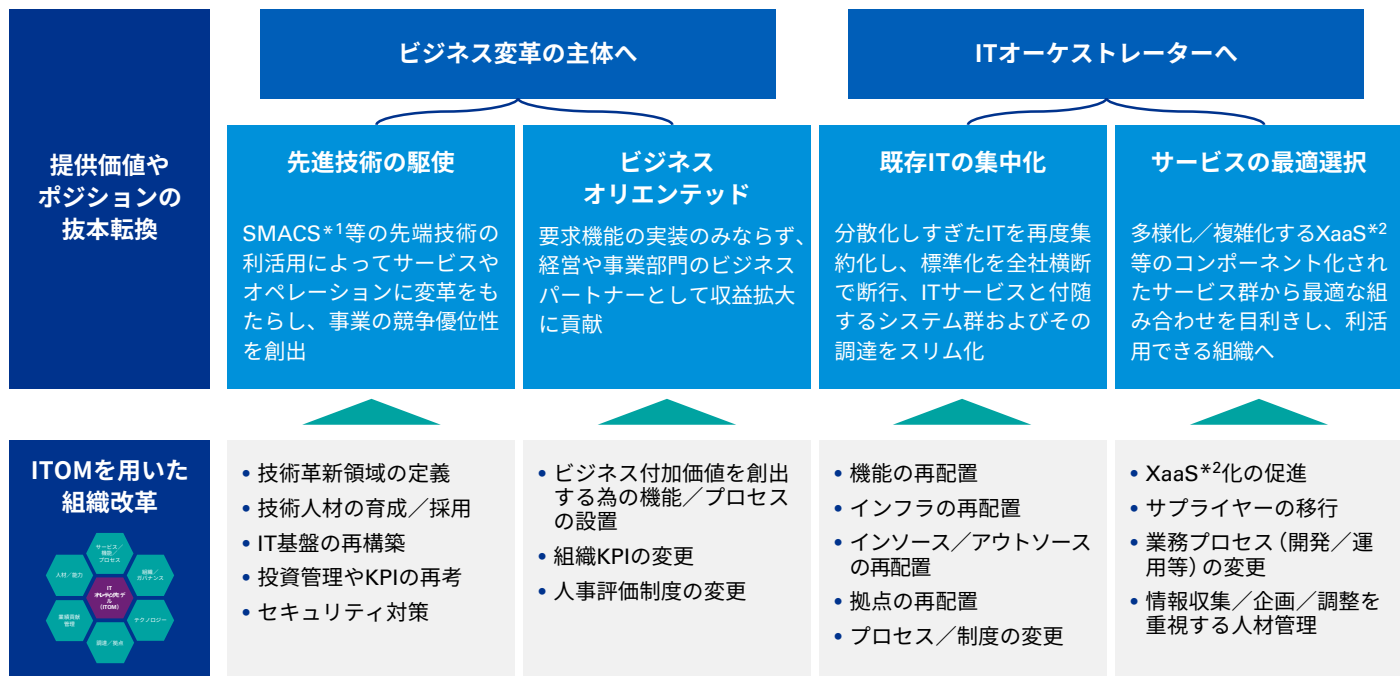
ITOMは、種々の経営課題や変革ニーズに対してIT機能の改善点やあるべき姿を多面的に導き出します。

経営課題／変革ニーズ		ITオペレーティングモデルの活用例
事業成長	事業拡大	<ul style="list-style-type: none"> 成長目標に即したスケーラビリティの確保 事業方針に沿ったビジネス／ITの整合化
	戦略変更	<ul style="list-style-type: none"> 自社市場を脅かす新たな脅威への対応 グローバルを含む新規市場への参入
	顧客満足度向上	<ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度とオペレーション効率改善の両立 顧客ニーズの多様化への対応
	M&A後の統合	<ul style="list-style-type: none"> 事業および組織の統合とシナジー創出
コスト効率向上	コスト削減／調達最適化	<ul style="list-style-type: none"> ITコストの最適化に向けた構造改革 購買／調達のQCDR*1の最適化
	スピード／効率の追求	<ul style="list-style-type: none"> 複雑化／サイロ化した事業／業務／組織の棚卸と解消（シンプル化）
リスクコントロール	規制対応	<ul style="list-style-type: none"> 関連法令への対応 社会課題や業界指針を踏まえた社内方針作り

脚注：*1. Quality (品質)、Cost (コスト)、Delivery (スピード)、Risk (リスク)の略

IT組織のパラダイムシフト

ITを取り巻く環境が急激に変化する中、IT機能の提供価値やポジションの抜本転換を目指す企業が増えており、このようなシーンでもITOMは効果を発揮します。



脚注：*1. Social Business、Mobile First、Analytics/Big Data、Cloud、Securityの略

*2. SaaS/PaaS/IaaS等の総称

ITOMを活用した支援サービス

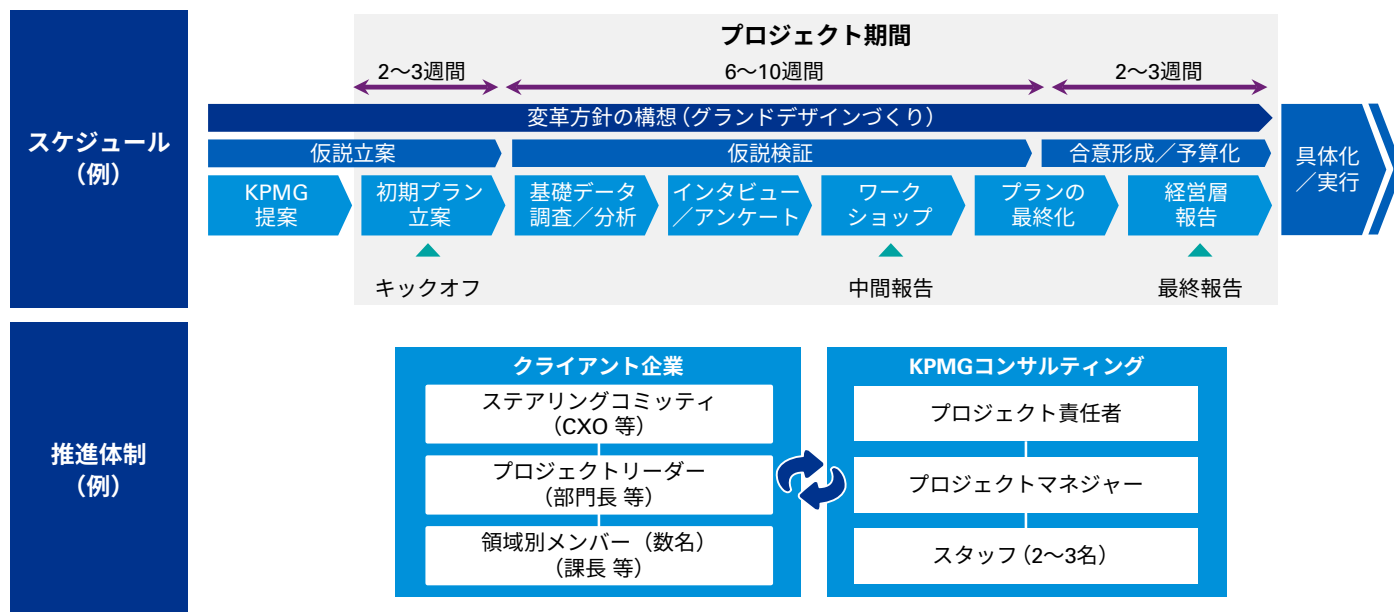
ITOMの変革構想アプローチ

確立された方法論とツール群を活用することで、広範なIT機能の変革方針を網羅的かつ効率的に具体化することができます。

変革プラン (アウトプット)		プロジェクト作業	
章目次	主要コンテンツ	主要アクティビティ	検討/分析のツール群
[第1章] 変革方針	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト背景 課題と変革コンセプト プロジェクト基本方針 	<ul style="list-style-type: none"> 経営課題/事業戦略の整理 概要初期調査 達成目標/アプローチ/マイルストーンの定義 	<ul style="list-style-type: none"> IT Functional Model IT Capability Model Untrapping IT Values
[第2章] 現状	<ul style="list-style-type: none"> ITOM6要素の現状と将来像 ①サービス/機能/プロセス ②組織/ガバナンス ③テクノロジー 	<ul style="list-style-type: none"> 提供サービスの体系化と追加/統廃合 組織成熟度診断/ガバナンスモデル再考 採用技術/基盤のマイグレーション構想 ベンダー/サプライヤーの再編 	<ul style="list-style-type: none"> IT KPIs List IT SLA診断 ITアーキテクチャ診断 IT Skill Maturity Assessment ITコスト評価 等
[第3章] 目標	<ul style="list-style-type: none"> ④調達/拠点 ⑤業績貢献管理 ⑥人材/能力 ITコストの現状と目標像 	<ul style="list-style-type: none"> 開発/運用拠点の再配置/統廃合 組織KPI/モニタリング制度の再設計 人材像の再定義と採用/評価/教育の制度化 コスト構造分析/財務シミュレーション 等 	
[第4章] 変革計画	<ul style="list-style-type: none"> 変革施策と実行計画 実現性評価/ビジネスケース 実行ロードマップ 	<ul style="list-style-type: none"> 施策立案とアクションプラン化 実現性や投資対効果の評価 スケジュール化とリソース計画立案 	

プロジェクトイメージ

方法論と知見に基づく仮説検証アプローチにより、経営に資する変革方針を短期間で策定します。



Why KPMG ?

KPMG CIOアドバイザーはGlobal CoE (Center of Excellence) を設置し、IT組織改革のケイパビリティ向上と、それに伴うビジネス価値向上への継続的な貢献の仕組み作りなど、数々のクライアントビジネスの変革を支援してきました。この経験を基にしたノウハウを活用し、クライアント企業が抱えるさまざまな課題の解決を支援します。

お問合せ先

KPMGコンサルティング株式会社

〒100-0004

東京都千代田区大手町1丁目9番5号

大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

TEL : 03-3548-5111

FAX : 03-3548-5114

kpmg.com/jp/kc

松本 剛 / Go Matsumoto

パートナー、CIOアドバイザー

go.matsumoto@jp.kpmg.com

石井 信行 / Nobuyuki Ishii

ディレクター、CIOアドバイザー

nobuyuki.n.ishii@jp.kpmg.com

井城 裕治 / Yuji Iki

シニアマネジャー、CIOアドバイザー

yuji.iki@jp.kpmg.com

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティング株式会社までお問い合わせください。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2016 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. 16-1278

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.